

# お天気解説 アキラのズバツと

## 平賀源内が作った温度計

令和7年4月25日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聡

いよいよゴールデンウィークですね！計画を立てている人も多いと思  
います。区内でも様々なイベントが行われますので、ぜひ楽しんでみ  
てください。

さて、江戸時代に数々の発明をして人々を驚かせた平賀源内は、  
日本で初めて温度計を作った人です。オランダ製の「タルモメートル」  
を基に作製し「日本創製寒熱昇降器」という、液体の薬品を入れたガ  
ラス管を、目盛のついた板に張り付けた温度計を作りました。これに  
は、極寒・寒・冷・平・暖・暑・極暑の訳文と°F（華氏またはカ氏：  
オランダで活動した学者ファーレンハイトのこと）の温度の目盛が付い  
ていて、後の世に寒暖計と呼ばれるようになりました。

「日本創製寒熱昇降器」は現存していませんが、復元されたものによ  
ると、右図のようになっていたようです。ガラス管の中の液体はアル  
コールだったと考えられており、すでに現在の温度計とほぼ同じもの  
が出来ていたこととなります。

日本で使われている°C（摂氏またはセ氏：スウェーデンの学者セルシ  
ウスのこと）とは、氷点を0°C、沸点を100°Cとした目盛で、0°Cは32°Fに当たります。多く  
の国ではセ氏（°C）が一般的に使われていますが、アメリカやカナダなどでは今も華氏（°F）が  
広く使われ、天気予報も華氏で放送しています。華氏をセ氏に直すには、 $^{\circ}\text{C} = (^{\circ}\text{F} - 32) \times 5/9$   
という計算式で出せます。95°Fは、 $95 - 32 = 63$  に5/9をかけるので35°Cになり、今の猛暑日  
に当たります。寒熱昇降器では「極暑」ですね。「極寒」の0°Fは-18°Cぐらいですね。江戸時  
代は低温でしたが、江戸で「極暑」「極寒」があったのか分かりません。

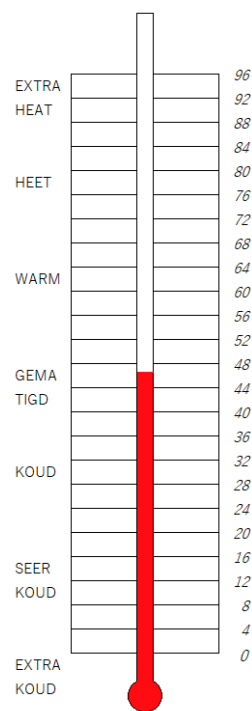


図 平賀源内が作製した「日本創製寒熱昇降器」の復元

2025年04月25日11時 気象庁 発表			
日付	今日 25日(金)	明日 26日(土)	明後日 27日(日)
東京地方	曇	晴時々曇	晴時々曇
降水確率(%)	-/-/20/30	10/0/20/20	10
信頼度	-	-	-
東京 気温 (°C)	最高	22	23 (22~27)
	最低	-	11 (9~13)

### 東京地方の週間天気予報

(気象庁HPから抜粋)

今週末は晴れそうですが、土曜日にはわか雨に注意が必要です。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。